

3

地域別の景観形成方針と基準

地域景観に美しく調和し、
地域の個性とにぎわいをつくる
【熊本のまちとつながる】

- 3-1 屋外広告物ガイドラインの対象地域と
景観分類
- 3-2 地域別景観形成方針と配慮事項



3 地域別の景観形成方針と基準

3-1 屋外広告物ガイドラインの対象地域と景観分類

熊本市各地域の景観特性による屋外広告物の景観分類です。屋外広告物を掲出する場所が、どのような景観特性なのかを事前に確認してください。本景観分類は「熊本市景観計画」の地域分類を基に第2次熊本市都市マスタープランで掲げる都市構造の将来像「多核連携都市※」づくりの考え方を取り入れて作成しています。

眺望景観づくりエリア

地域	屋外広告物の景観形成方針	
① 熊本城天守閣から望む景観 熊本城周辺地域★		雄大な阿蘇等の山並みや熊本の市街地の美しい眺望を創出するために、天守閣から見える屋外広告物は、景観を阻害しない大きさや色彩にしましょう。
② 熊本城を望む景観 各視点場からの眺望範囲★		熊本城が美しく見える眺望を守るために、熊本城を望む視点場から見える屋外広告物は、熊本城を遮らない大きさや色彩にしましょう。
③ 水前寺成趣園から望む景観 水前寺周辺地域★		美しい園内からの眺望を守るために、背景となる空や街並み等の景観を阻害する広告物は掲出しないようにしましょう。
④ 江津湖から望む景観 江津湖周辺地域★		空や水と緑などの自然が織りなす美しく開放的な景観を守るため、公園から見える屋外広告物は景観を阻害しない大きさや色彩にしましょう。

★熊本市景観計画の重点地域の中でも、特に視点場が設定されている場所です。

沿道景観づくりエリア

地域	屋外広告物の景観形成方針	
① 市電沿道の景観 電車通沿線地域(重点地域)		市電の車窓から見える美しく潤いのある景観を創出するために、屋外広告物は沿道の景観と調和し、まとまりのあるデザインにしましょう。
② 幹線沿道と交差点の景観 特定施設届出地区と主要交差点		美しく賑わいがある街路空間を創出するために、屋外広告物の高さや位置などはまとまりのあるようにしましょう。

※多角連携都市：中心市街地や地域拠点が、利便性の高い公共交通により相互に連携するとともに、郊外部も含めた広域的な地域生活圏の核となる地域拠点等においては日常生活サービス機能が維持・確保され、それらの拠点や利便性の高い公共交通沿線において人口密度が維持された都市。

地域景観づくりエリア

地域

屋外広告物の景観形成方針

① 商店街の景観

中心商店街(上通、下通、サンロード新市街等)
健軍商店街
子飼商店街他



歩行者の通行を妨げないように設置してください。商店街や通りの個性を感じる景観を創出するために、屋外広告物は商店街ごとにまとまりのあるデザインにしましょう。

② 駅周辺の景観

JR 鹿児島本線(熊本駅、上熊本駅、川尻駅)
JR 豊肥本線(南熊本駅、新水前寺駅)
熊本電鉄菊池線(藤崎宮駅、北熊本駅他)



都市や地域の玄関口にふさわしい、美しく個性ある駅前空間を創出するために、屋外広告物は地域の個性を反映したまとまりのあるデザインにしましょう。

③ 歴史的建物が残る街並みの景観

古町・新町
川尻地区他



城下町や河港町・職人町などの歴史を感じ、風情ある景観を創出するために、伝統的な街並みや建物に調和する屋外広告物の大きさや色彩にしましょう。

④ 公園・緑地から見える景観、公園・緑地内の景観

白川公園、八景水谷公園、平成中央公園他



空や水と緑などの美しい景観を守るために、公園から見える屋外広告物は景観を阻害しない大きさや色彩にしましょう。

⑤ 山・農用地

金峰山周辺、加勢川周辺、緑川流域、立田山周辺、雁回山周辺、託麻三山周辺
他市全域の市街化調整区域



山林や田畑、海川などの美しい景観を守るために、屋外広告物は自然景観を乱さない大きさや色彩にしましょう。

⑥ 住宅地の景観

長嶺地区、富合地区、楠・武蔵ヶ丘地区、城南地区、八景水谷・清水亀井地区、城山地区 その他住宅地



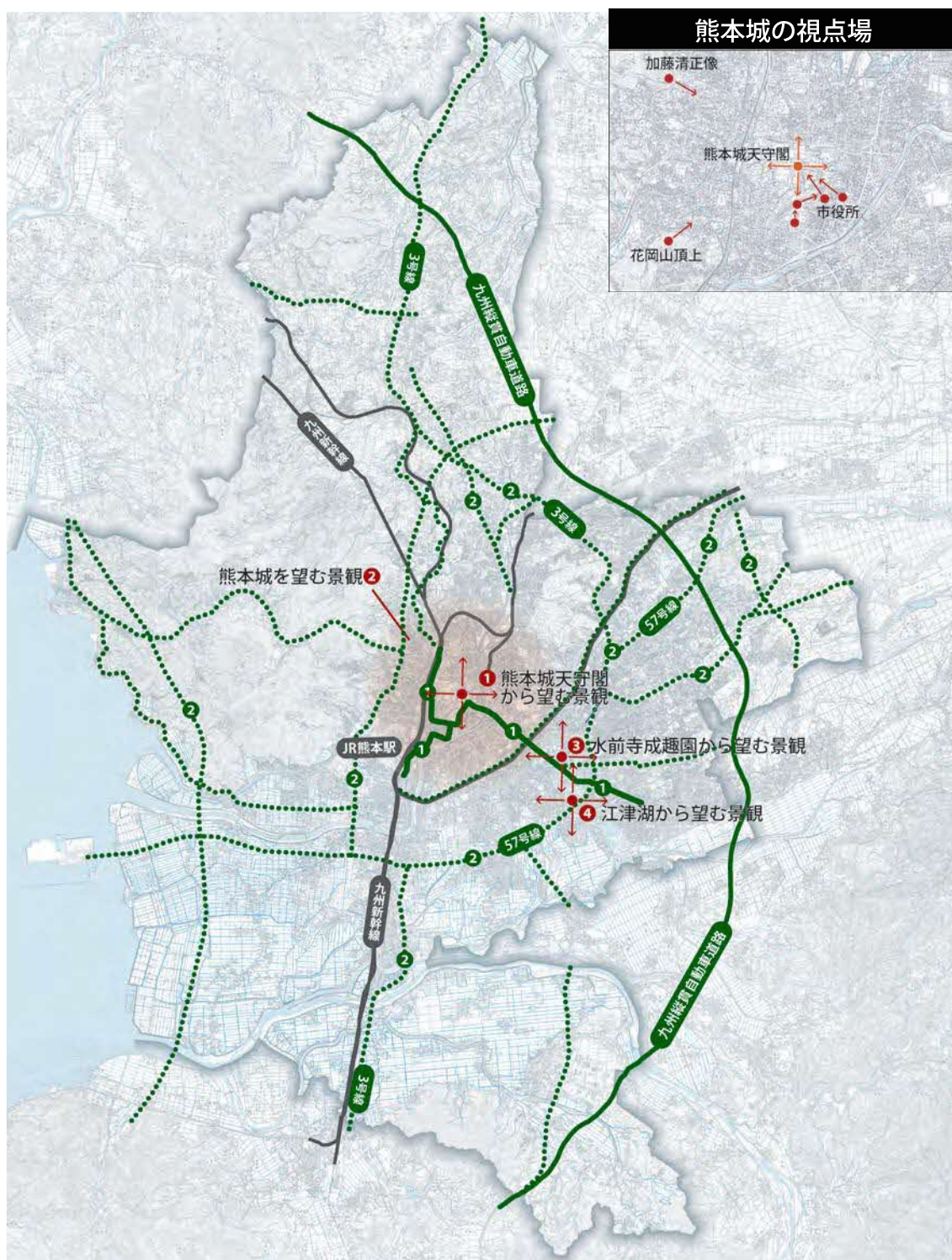
住民の穏やかで落ち着いた生活環境を守るために、屋外広告物の掲出は最低限にしましょう。

眺望景観づくりエリア

- ① 熊本城天守閣から望む景観
- ② 熊本城を望む景観
- ③ 水前寺成趣園から望む景観
- ④ 江津湖から望む景観

沿道景観づくりエリア

- ① 市電沿道の景観
- ② 幹線沿道と交差点の景観



地域景観づくりエリア

①商店街の景観

中心商店街（上通、下通、サンロード新市街等）、
健軍商店街、子飼商店街他

②駅周辺の景観

JR 鹿児島本線（熊本駅、上熊本駅、川尻駅）
JR 豊肥本線（南熊本駅、新水前寺駅）
熊本電鉄菊池線（藤崎宮駅、北熊本駅他）

③歴史的建物が残る町並みの景観

古町・新町、川尻地区他

④公園・緑地の景観

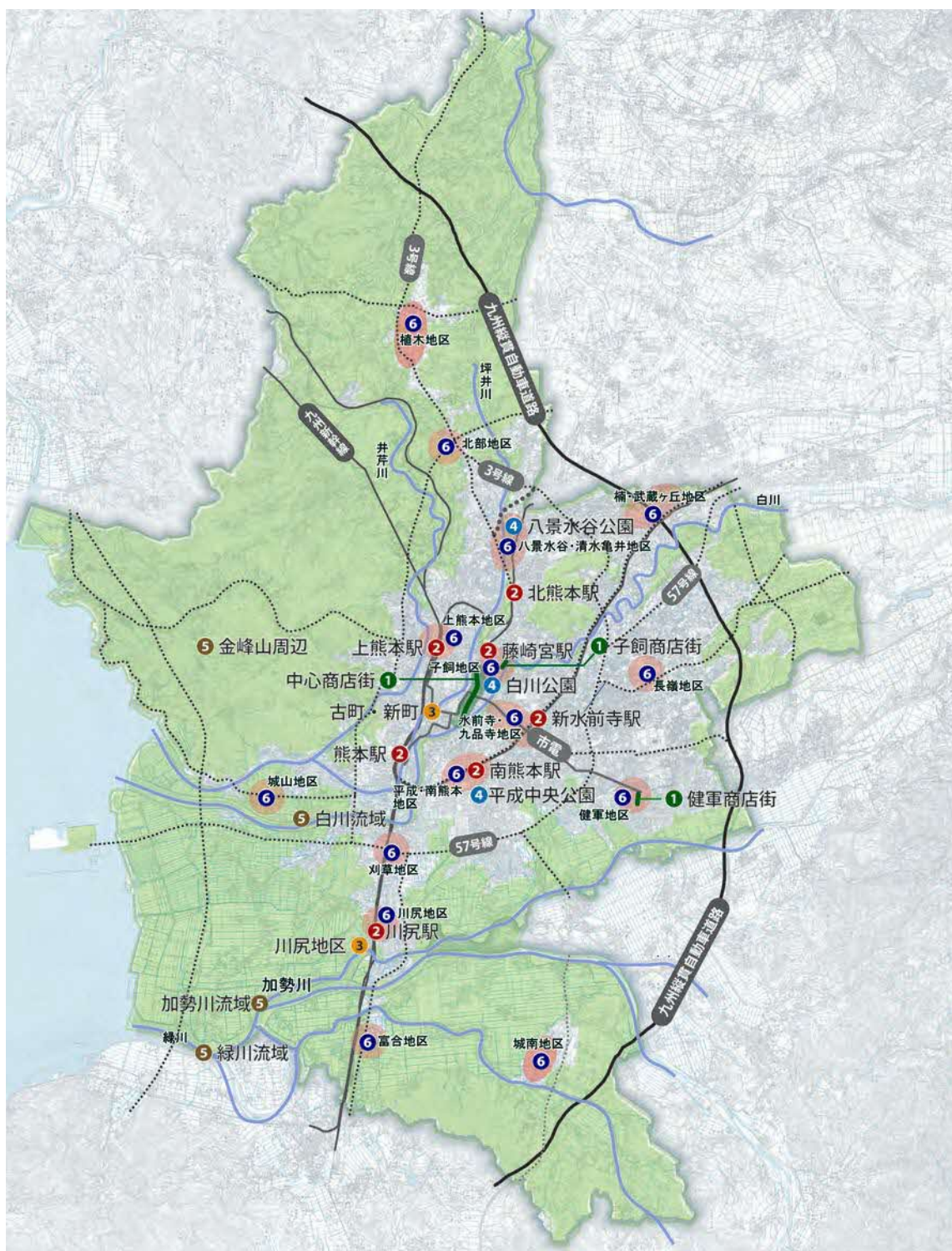
白川公園、八景水谷公園、平成中央公園他

⑤山・農業地

金峰山
加勢川、緑川、白川
他市全域の市街化調整区域

⑥住宅地

長嶺地区
富合地区
楠・武蔵ヶ丘地区
城南地区
八景水谷・清水亀井地区
城山地区
その他住宅地



3-2 地域別景観形成方針と配慮事項

3-2-1 眺望景観づくりエリア

① 熊本城天守閣から望む景観

景観形成方針

雄大な阿蘇等の山並みや熊本の市街地の美しい眺望を創出するために、天守閣から見える屋外広告物は、景観を阻害しない大きさや色彩にしましょう。

デザインのポイント 遠景・中景・近景への配慮

ポイント 参照ページ

① 屋外広告物は、建築物と一体感があるデザインにしましょう。

一体感

調和 p31

② 屋上広告や建植広告は、周囲から突出しない大きさにしましょう。

大きさ

調和 p30

③ 色彩は、基調色が高彩度にならないようにしましょう。

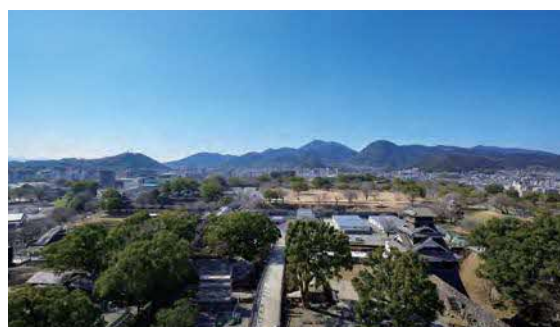
色彩

色彩 p39

④ 熊本城からの距離が 400m程度まで(近景)は文字の大きさ、2.5 km程度まで(中景)は色彩、2.5 km以上(遠景)は形状に配慮しましょう。



天守閣から東側を望む眺望



天守閣から西側を望む眺望



天守閣から南側を望む眺望



天守閣から北側を望む眺望



避けたい広告物のイメージ

③ 高彩度の広告物

② 周囲から突出した
大きな広告物



②熊本城を望む景観

景観形成方針

熊本城が美しく見える眺望を守るために、熊本城を望む視点場から見える屋外広告物は、熊本城を遮らない大きさや色彩にしましょう。

デザインのポイント 近景・遠景への配慮

ポイント 参照ページ

①屋外広告物は、熊本城への視野を遮らない、乱さない大きさにしましょう。

大きさ

調和 p30

②色彩は、基調色が高彩度にならないようにしましょう。

色彩

色彩 p39

③熊本城のライトアップを際立たせるために、高輝度の電照広告は控えましょう。

光

光 p45



花畑広場から天守閣を望む眺望



本妙寺加藤清正像前から天守閣を望む眺望



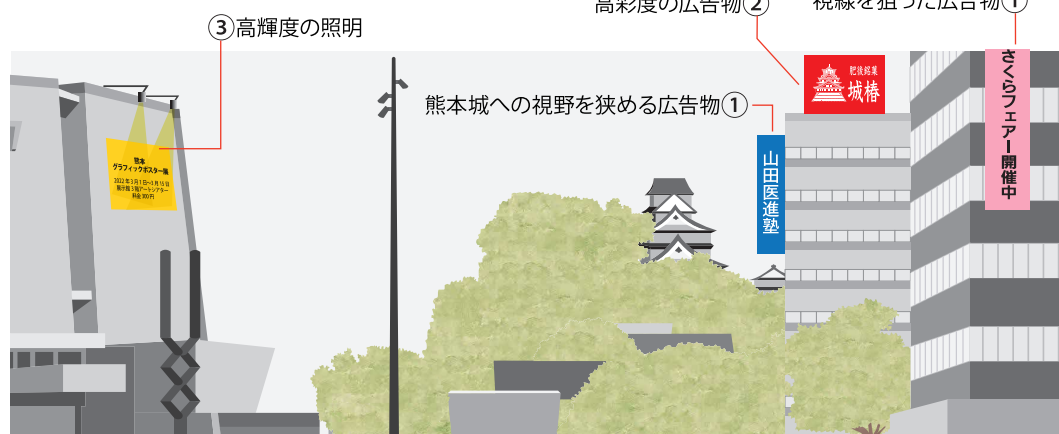
通町筋から天守閣を望む眺望



花畑広場から天守閣を望む夜間の眺望



避けたい広告物のイメージ



③ 水前寺成趣園から望む景観

景観形成方針

美しい園内からの眺望を守るために、背景となる空やまちなみ等の景観を阻害する広告物は掲出しないようにしましょう。

デザインのポイント 遠景・中景への配慮

ポイント 参照ページ

①園から眺望できる建物には、屋上広告や壁面広告等の掲出は控えましょう。

調和 p30

②園内や参道の立看板や自動販売機、のぼり旗等は、美しい園内の風景を壊さないように、落ち着いた自然の素材色や低彩度の色彩にしましょう。

色彩

自動販売機 p51

のぼり旗 p50

立看板 p51

③園内や参道の屋外広告物は、小型でまとまりがあるデザインとし、来訪者が楽しく散策できる魅力的な園路空間を創出しましょう。

一体感



古今伝授の間から東側への眺望



南側園路から出水神社への眺望



東側園路から古今伝授の間への眺望



北側園路から古今伝授の間への眺望

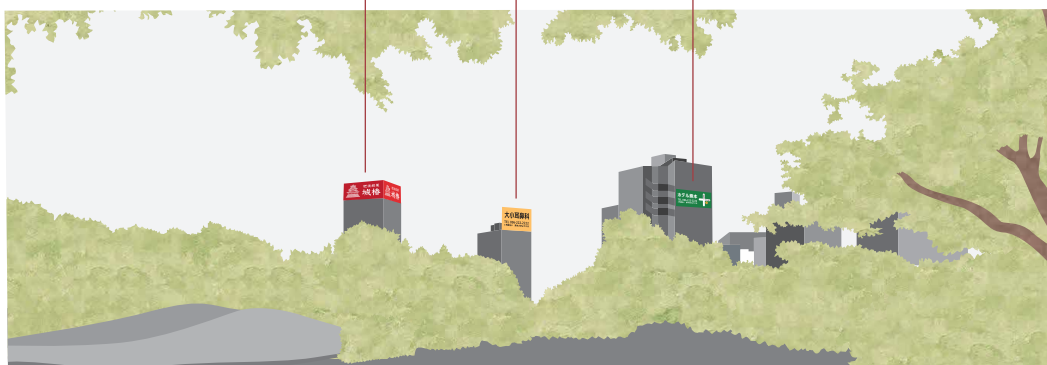


避けたい広告物のイメージ

①屋上広告

①屋上広告

①壁面広告



④江津湖から望む景観

景観形成方針

空や水と緑などの自然が織りなす美しく開放的な景観を守るため、公園から見える屋外広告物は景観を阻害しない大きさや色彩にしましょう。

デザインのポイント 遠景への配慮

ポイント 参照ページ

①園から眺望できる建物には、屋上広告や壁面広告の掲出は控えましょう。

調和 p30

②園内の屋外広告物や自動販売機は、自然の風景を壊さないように、自然の素材色や低彩度の色彩にしましょう。

色彩

色彩 p39

自動販売機 p51

③水面に反射するような照明や電照広告は控えましょう。

光

光 p45



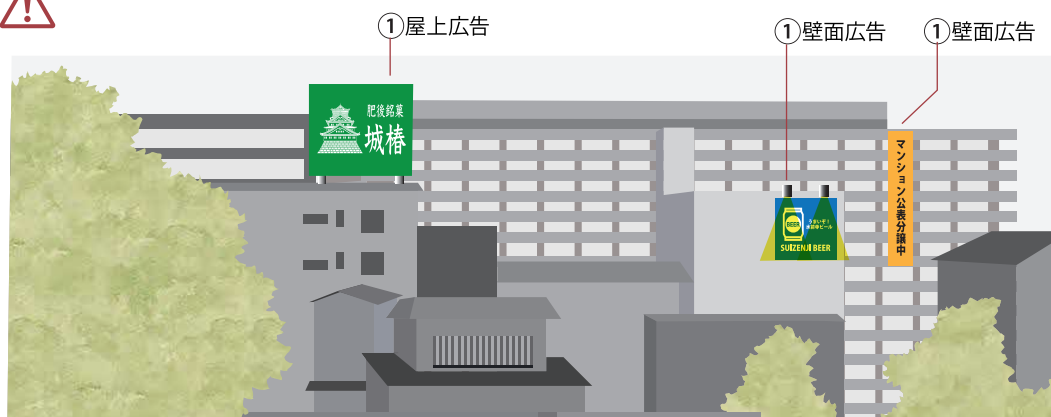
中ノ島から東側への眺望



中ノ島から北側への眺望



避けたい広告物のイメージ



参考事例／福岡市大濠公園の例



低彩度の色彩で表示された壁面広告



無彩色の自動販売機

3-2-2 沿道景観づくりエリア

①市電沿道の景観

景観形成方針

市電の車窓から見える美しく潤いのある景観を創出するために、
屋外広告物は沿道の景観と調和し、まとまりのあるデザインにしましょう。

デザインのポイント 中景への配慮

ポイント 参照ページ

①建植広告は、街路樹を超えない高さにしましょう。	高さ	
②建植広告は、高さを周辺の広告物と揃えましょう。	高さ	調和 p33
③窓面・窓内広告は、建物の低層部(2階)までの表示としましょう。	配置	窓面広告 p49
④突出広告やのぼり旗は、掲出を控えましょう。		のぼり旗 p50
⑤色彩は、街路樹等の色彩を乱さない低彩度のものにしましょう。	色彩	色彩 p39

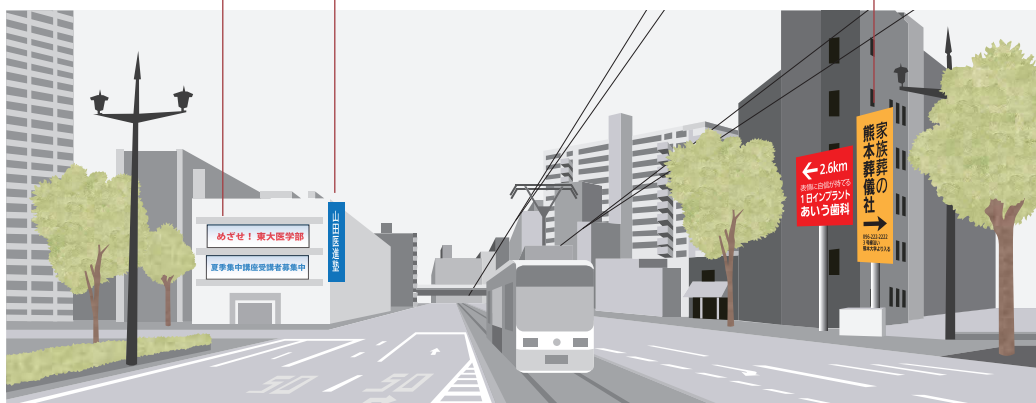


避けたい広告物のイメージ

高層部の窓面広告③

④突出広告

⑤高彩度で不揃いの
建植広告



② 幹線沿道と交差点の景観

景観形成方針

美しく賑わいがある街路空間を創出するために、
屋外広告物の高さや位置などはまとまりのあるようにしましょう。

デザインのポイント 中景への配慮

ポイント 参照ページ

① 屋上広告や建植広告は、できる限り周辺の広告物と高さを揃えましょう。

高さ

調和 p33

② 壁面広告は、建物全面に掲出せず、
形態や大きさなどを揃えて、まとまりのある掲出をしましょう。

形状

大きさ

窓面広告 p49

③ 交差点付近に複数の屋外広告物を掲出する場合には、
形態や大きさなどを揃えて、まとまりのある掲出をしましょう。

形状

大きさ

調和 p32

④ 歩行者の安全を確保するために、建植広告、立看板、のぼり旗は、
自動車運転者の視界を妨げないようにしましょう。

交通安全性

安全 p53

のぼり旗 p50

⑤ デジタルサイネージは、交通安全に配慮し、点滅や赤色発光、
継続して見てしまうストーリー性がある映像は控えましょう。

交通安全性

デジタルサイネージ p48



避けたい広告物のイメージ

点滅するデジタルサイネージ⑤

② 不揃いでまとまりのない壁面広告

③ 不揃いでまとまりのない建植広告



3-2-3 地域景観づくりエリア

①商店街の景観

景観形成方針

歩行者の通行を妨げないように設置してください。
商店街や通りの個性を感じる景観を創出するために、屋外広告物は商店街ごとにまとまりのあるデザインにしましょう。

デザインのポイント 近景への配慮

ポイント 参照ページ

①立看板、のぼり旗は、歩行者の通行を妨げない場所に設置しましょう。	交通安全性	安全 p53
②店舗の立看板やバナー等は、大きさや高さ、色調を揃え、まとまりを持たせましょう。	大きさ	立看板 p51
	色彩	色彩 p39
③壁面広告、窓面・窓内広告は、低層部（2階）までの表示としましょう。	配置	窓面広告 p49
④デジタルサイネージは、過度な点滅や音声を控えましょう。	光・音	デジタルサイネージ p48
⑤商店街や通りで独自のデザイン基準を設定しましょう。 また、※歩行者利用増進道路制度（ほこみち制度）等を活用し、安全で楽しい歩道空間を創出しましょう。	個性	協働 p61

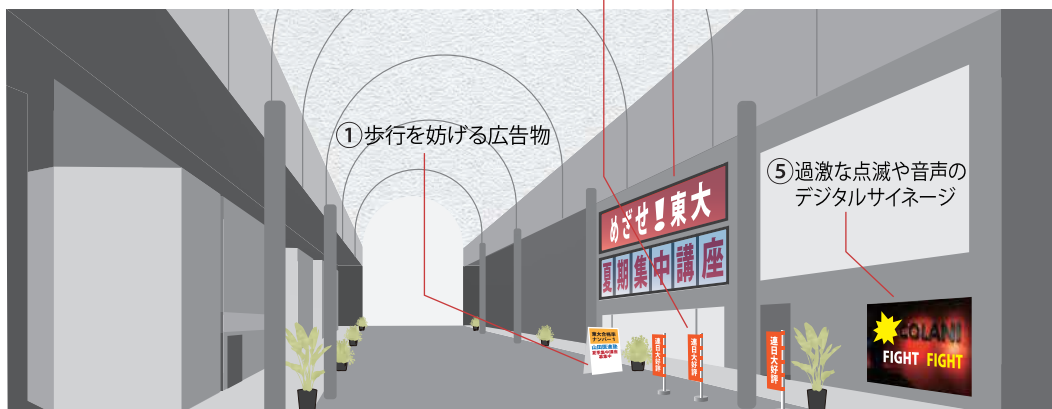
※歩行者利便増進道路制度により、道路占用許可を得た場合、道路上に立看板やバナーなどを設置できる場合があります。



避けたい広告物のイメージ

道路にはみだすのぼり旗①

④窓面を埋めるような広告



2 駅周辺の景観

景観形成方針

都市や地域の玄関口にふさわしい、美しく個性ある駅前空間を創出するために、屋外広告物は地域の個性を反映したまとまりのあるデザインにしましょう。

共通項目

デザインのポイント 中景・近景への配慮

ポイント 参照ページ

①駅および駅前広場から見える屋外広告物は、周辺の建築物と調和させ、突出した大きさや色彩は控えましょう。	大きさ	調和 p30
	色彩	色彩 p39
②通行者の妨げになる立看板、のぼり旗は控えましょう。	交通安全性	のぼり旗 p50
③駅および、駅前広場から見えるデジタルサイネージと窓面広告は、建物や周辺環境に調和するように配慮しましょう。	配置	デジタルサイネージ p48
		窓面広告 p49

A 玄関口となる駅周辺 都心拠点型駅（JR 鹿児島本線熊本駅、上熊本駅、JR 豊肥本線新水前寺駅）

個別項目

デザインのポイント 中景・近景への配慮

ポイント 参照ページ

①熊本の陸の玄関口にふさわしい、風格を感じさせる素材や色彩を使用しましょう。	素材	調和 p31
	色彩	
②デジタルサイネージは、過度な点滅や音声は控えましょう。	光・音	デジタルサイネージ p48
③照明は、周辺の照明や電照広告と調和させ、まとまりのある美しい夜間景観になるように配慮しましょう。	光	光 p45
④駅周辺の事業者等で協議し、地区で独自のデザイン基準を設定しましょう。	個性	協働 p61

熊本駅前には、熊本駅周辺地域都市空間デザインガイドラインがあります。そちらもご覧ください。



参考事例／JR 熊本駅周辺



建築物と調和した大きさの壁面広告



まとまりがある壁面広告



建築物と調和した大きさと色彩の壁面広告



窓面から離れた位置に表示された窓内広告

B 地域や観光地の玄関口となる駅周辺

地域拠点型駅（JR 鹿児島本線川尻駅・西熊本駅・富合駅、JR 豊肥本線水前寺駅・光の森駅・南熊本駅）

個別項目

デザインのポイント 中景・近景への配慮

ポイント 参照ページ

- ①地域の玄関口としてふさわしい、景観に馴染み、落ち着いた色彩と大きさの屋外広告物としましょう。

大きさ

調和 p31

色彩

色彩 p39

- ②周辺の照明や電照広告と調和させ、輝度を抑えて、まとまりがある美しい夜間景観になるように配慮しましょう。

光

光 p45

- ③駅周辺の事業者等で協議し、地区で独自のデザイン基準を設定しましょう。

個性

協働 p61



避けたい広告物のイメージ

①まとまりがなく、景観に馴染まない広告物類



C 主に市民が利用する駅周辺

生活拠点型駅（その他の駅）

個別項目

デザインのポイント 中景・近景への配慮

ポイント 参照ページ

- ①穏やかな生活環境を乱さないように、屋外広告物の大きさや高さを抑えましょう。

大きさ

調和 p31

- ②夜間、歩行者の安全のために屋外広告物は照明式を推奨します。照明は輝度を抑えて、穏やかな夜間景観になるように配慮しましょう。

光

光 p45

- ③屋外広告物の色彩は、基調色が高彩度にならないようにしましょう。

色彩

色彩 p39



避けたい広告物のイメージ

①大きな屋外広告

③基調色が高彩度の屋外広告



3 歴史的建物が残る街並みの景観

景観形成方針

城下町や河港町・職人町などの歴史を感じ、風情ある景観を創出するために、伝統的な街並みや建物に調和する屋外広告物の大きさや色彩にしましょう。

デザインのポイント 近景への配慮

ポイント 参照ページ

①地域が一体となり屋外広告物を伝統的なイメージで統一しましょう。	歴史	協働 p61
②屋外広告物の大きさや高さを抑え、小型のものにしましょう。	大きさ	調和 p30
③伝統的な「のき看板」や「のれん」などを活用しましょう。 また、素材は木材や石材、布など風情ある素材を使用しましょう。	素材	素材 p44
④色彩は、自然の素材色や低彩度にしましょう。	色彩	色彩 p39
⑤自動販売機等は街並みや建物と調和させた色彩にしましょう。	色彩	自動販売機 p51
⑥照明は、穏やかな電球色としましょう。	光	光 p45
⑦周辺の事業者や住民等で協議し、通りで独自のデザイン基準を設定しましょう。行燈照明広告や、屋外広告物に花や緑を添えるなど、通りのイメージに個性とまとまりを持たせましょう。	個性	協働 p61



参考事例／新町・古町地区の例



伝統的な意匠の「縄のれん」を使った広告物



伝統的な意匠の「のき看板」を使った広告物



アイアンクラフトに緑を合わせた広告物



クラシックな自転車を使った広告物

④公園・緑地から見える景観、公園・緑地内の景観

景観形成方針

空や水と緑などの美しい景観を守るために、
公園から見える屋外広告物は景観を阻害しない大きさや色彩にしましょう。

デザインのポイント 遠景・中景への配慮

ポイント 参照ページ

①屋上広告や壁面広告は、高さや大きさを抑えましょう。

高さ

調和 p30

②照明や電照広告は、高輝度にならないようにしましょう。

光

光 p45



白川公園



平成中央公園



八景水谷公園



水前寺江津湖公園（広木地区）



避けたい広告物のイメージ

①突出した屋上広告

①大きな壁面広告



5 山・農業地

景観形成方針

山林や田畑、海川などの美しい景観を守るために、
屋外広告物は自然景観を乱さない大きさや色彩にしましょう。

デザインのポイント 遠景・中景への配慮

ポイント 参照ページ

①交差点等で建植広告を設置する場合には、可能な限りまとめるとともに、
大きさや高さを揃えましょう。

大きさ

調和 p30

②見通しが良い場所に建植広告を設置する場合には、
山の稜線などを遮らないように、できる限り低く、小さくしましょう。

大きさ

調和 p30

③見通しが良い場所に建植広告を設置する場合には、集中して掲出せず、
適度な間隔を空けて設置しましょう。

大きさ

配置

調和 p33

④耐久性の劣る素材やのぼり旗の掲出は控えましょう。

交通安全性

安全 p53

⑤自然の風景を乱さないように、天然素材色や低彩度の色彩にしましょう。

色彩

色彩 p39



金峰山周辺の景観



河内周辺の景観



避けたい広告物のイメージ

①②③⑤不揃いで山の稜線を遮っている建植広告



6 住宅地の景観

景観形成方針

住民の穏やかで落ち着いた生活環境を守るために、
屋外広告物の掲出は最低限にしましょう。

デザインのポイント 中景・近景への配慮

ポイント 参照ページ

①屋外広告物は大きさや高さを抑えたものにしましょう。	大きさ	調和 p30
②建植広告はできる限りまとめて設置しましょう。	形状	調和 p33
③窓面・窓内広告は、低層部（2階）までの表示としましょう。	配置	窓面広告 p49
④夜間、歩行者の安全のために屋外広告物は照明式を推奨します。 照明は高輝度の発光や点滅はしないようにしましょう。	光	光 p45 安全 p53
⑤映像や音声ができるデジタルサイネージ等は掲出しないようにしましょう。	映像	
⑥色彩は、基調色を低彩度にしましょう。	色彩	色彩 p39



水前寺周辺の集合住宅地景観



富合周辺の戸建住宅地景観



避けたい広告物のイメージ

① 大きな壁面広告

③ 窓面を埋めるような広告

② ⑥ 高彩度で複数の建植広告

